

## ●認知症サポーター養成講座〈受講者募集〉～認知症の人や家族を地域で支えよう～

### ●認知症サポーターとは？

認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者です。まず、「認知症サポーター養成講座」を受講していただき、その後、できる範囲での活動をしていただきます。特別なことをするわけではなく、認知症を自分自身の問題と認識し、認知症の人やその家族の気持ちを理解しようと努め、学んだ知識を友人や家族に伝える、それらもサポーター活動となります。サポーターには、「認知症の方を応援します」という意思を示す目印である「オレンジリング」をお渡しします。



オレンジリング

### ●養成講座の受講方法は？

年齢制限はなく、羽曳野市内に住む方ならどなたでも受講できます。概ね10人以上のグループで申し込みをしていただき、会場をご用意ください（民家などでもかまいません）。日時を調整後、当日はキャラバン・メイト（認知症サポーター養成講座の講師役）が講師として、出向きます。

※開催日は、概ね2カ月先の日程でお願いいたします。



認知症サポーター養成講座標準教材

認知症サポーターキャラバン

### ◆認知症の人への対応の心得 “3つの「ない」”

1. 驚かせない
2. 急がせない
3. 自尊心を傷つけない

認知症を理解し、認知症の人や家族を支える「認知症サポーター」を増やし、誰もが暮らしやすいまちに。

## もしも…のために、貼って安心「羽曳野市見守りネットワークシール」

### ●羽曳野市見守りネットワークシールとは？

…徘徊または徘徊のおそれのある認知症高齢者の、衣服や持ち物などに貼るシールです。（右図参照）認知症高齢者が徘徊し、その後保護された場合、このQRコードを携帯電話などで読み込むと、メッセージと地域包括支援センターの連絡先が表示されます。

保護された後、スムーズな連絡と身元確認のため、ぜひご利用ください。

【対象者】「羽曳野市徘徊高齢者SOSネットワーク事前登録制度」に登録のある方

【配布数】1人につき1シート（10枚）



シール（実寸大）

SOSネットワークの登録ナンバー

QRコードを読み込むと…メッセージが表示される

身元が分からない時は最寄りの警察署か下記に連絡をお願いします。  
羽曳野市  
地域包括支援センター  
TEL 072-947-3822

### 羽曳野市徘徊高齢者SOSネットワークとは…

【対象者】市内に在住する65歳以上の高齢者で、徘徊行動により行方不明となるおそれのある方。

【申込者】認知症と診断された高齢者本人か、その4親等以内の親族および支援者。

【手続き】印鑑と写真を持って、地域包括支援課（市役所別館1階）で申込。

【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30

※登録有効期間は2年間、偶数年度に更新が必要です。

徘徊中に発見・保護された認知症高齢者本人や、その家族のために。事前の登録で、“もしも”に備えましょう。

### ～ネットワークの活用について～

●認知症高齢者が行方不明になった際、地域包括支援課から各方面へ本人の情報を提供します。〈市役所内、すべての市施設、在宅介護支援センター、介護保険事業所（協力承諾事業所）〉

●市内を移動中に徘徊の疑いのある高齢者を見かけたり、また市民から情報が寄せられた場合などにスムーズな本人確認ができ、早期発見につなげるようにするものです。

●希望される場合は、南河内地域の市町村（松原市、藤井寺市、富田林市、河内長野市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村、柏原市）の担当窓口への情報提供もできます。

※積極的な検索活動を行うものではありません。